

小学校 算数科 第5学年活用問題一覧表

No.	単元名	学習指導要領の領域と内容				問題の概要	活用のとらえ			
		領域					情報の取り出し	分類整理・選択	思考・説明	解釈・表現
		A 数と計算	B 量と測定	C 図形	D 数量関係					
1	整数と小数	○			(2)ア 10倍, 100倍, 1/10, 1/100などの大きさの数をつくり, それらの関係を調べること。	◇学習の場面で, じゃんけんゲームについて解釈し対戦結果を振り返る問題 ○小数や整数で, 10倍, 100倍, 1/10, 1/100の大きさの数を小数点の移動によってつくることことができる。	○		○	○
2	直方体や立方体の体積		○		(2)イ 立方体及び直方体の体積の求め方を考えること。	◇学習の場面で, 複雑な立体について体積の求め方を考えたり, 計算で体積を求めたりする問題 ○直方体の体積の公式を使って複雑な立体の体積を求めたり, 式から体積の求め方を考えたりすることができる。	○		○	○
3	小数のかけ算	○			(3)ウ 小数の乗法及び除法についても, 整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。	◇学習の場面で, 直方体の体積を求める正しい式を選択したり, 体積を求めたりする問題 ○整数や小数の乗法で成り立つ計算の性質を使って, 直方体の体積を求める正しい式を選択することができる。	○	○	○	
4	小数のわり算	○			(3)ウ 小数の乗法及び除法についても, 整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。	◇貯金額を調べる状況で, 答えを導き出すために必要な情報を選択する問題 ○選択した情報から式を考えるとともに, 小数のわり算の計算が正確にできる。	○	○	○	
5	合同な図形			○	(1)イ 図形の合同について理解すること。	◇夏休みの課題に取り組む状況で, 工作の巣箱の側面の形を考えたり, 判断したりする問題 ○与えられた条件を基に図形の辺の長さを判断し, 長方形や台形の大きさを考えることができる。	○	○	○	
6	偶数と奇数, 倍数と約数	○			(1)イ 約数, 倍数について知ること。	◇委員会活動の場面で, 掲示板にしきつめられる正方形の大きさを判断する問題 ○与えられた条件に合う正方形の辺の長さを, 公約数を使って考えることができる。	○	○	○	
7	単位量あたりの大きさ		○		(4)ア 単位量あたりの大きさについて知ること。	◇買い物の場面で, 単位量に着目して総菜のねだんを考える問題 ○単位量あたりの大きさを用いて, 異なる二つの量を比べることができる。	○		○	○

(注)「情報の取り出し」は全ての問題で扱うこととする

No.	単元名	学習指導要領の領域と内容				問題の概要	活用のとらえ				
		領域					情報 の 取 り 出 し	分 類 整 理 ・ 選 択	思 考 ・ 説 明	解 釈 ・ 表 現	
		A 数 と 計 算	B 量 と 測 定	C 図 形	D 数 量 関 係						
内 容											
8	分数と小数	○				(4)ア 整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること。	◇調理の準備をする状況で、レシピに示された分数を小数で表す問題 ○分数で表された分量を小数に直して表すことができる。	○	○		○
9	図形の角			○		(1)ウ 図形の性質を見だし、それをを用いて図形を調べたり、構成したりすること。	◇学習の場面で、示された情報を選択して多角形の角の大きさの和を求める問題 ○三角形の角の大きさの和が180度であることを根拠に、多角形の角の大きさの和を求めることができる。	○	○	○	
10	分数のたし算とひき算	○				(4)オ 異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。	◇学習の場面で、整数や小数の場合の考え方を基にして分数のたし算での単位分数を考える問題 ○同じ単位を加えるという加法の原理を理解し、示された式から単位分数を考えることができる。	○		○	○
11	四角形と三角形の面積		○			(1)ア 三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の求め方を考えること。	◇学習の場面で、台形の中にできる三角形の面積について説明する問題 ○示された説明を解釈し、台形の中にできる三角形の面積が等しいことを説明することができる。	○		○	○
12	百分率とグラフ				○	(3) 百分率について理解できるようにすること。 (4) 目的に応じて資料を集めて分類整理し、円グラフや帯グラフを用いて表したり、特徴を調べたりすることができること。	◇店の売上金額等を考える状況で、グラフや表の関連をとらえ、アイスクリームの個数や売上金額を考える問題 ○百分率の意味を理解し、グラフや表を関連させてとらえたり、必要な情報を選択したりすることができる。	○	○	○	
13	正多角形と円周の長さ			○		(1)ア 多角形や正多角形について知ること。 エ 円周率について理解すること。	◇学級会の場面で、正多角形になる花壇の形を判断したり、円周の長さの求め方を説明したりする問題 ○正多角形の性質を理解し、円に内接する正六角形の辺の長さと円周の長さの関係を使って説明することができる。	○	○	○	
14	分数のかけ算とわり算	○				(4)カ 乗数や除数が整数である場合の分数の乗法及び除法の意味について理解し、計算の仕方を考え、それらの計算ができるようにすること。	◇学習の場面で、分数の性質やわり算のきまりを使って考える問題 ○示された考えを基に計算の仕方を考え、分数のわり算の計算ができる。	○		○	○
15	角柱と円柱			○		(2)ア 角柱や円柱について知ること。	◇貯金箱を作る状況で、示された展開図や用紙を基に角柱をとらえる問題 ○展開図や立体を構成する面などから、角柱を構成することができる。	○	○	○	

(注)「情報の取り出し」は全ての問題で扱うこととする

小学校 算数科 第6学年活用問題一覧表

No.	単元名	学習指導要領の領域と内容				問題の概要	活用のとらえ			
		領域					情報の取り出し	分類整理・選択	思考・説明	解釈・表現
		A 数と計算	B 量と測定	C 図形	D 数量関係					
16	円の面積		○			(2)ア 円の面積の求め方を考えること。	◇家庭生活の場面で、ひもにつながれた犬が自由に動くことができる範囲の面積を求める問題 ○与えられた情報から図形を的確に判断し、円の面積の公式を使って図形の面積を求めることができる。	○	○	○
17	文字と式				○	(3)ア 数量を表す言葉や□、△などの代わりに、a、xなどの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすること。	◇買い物の場面で、文字を用いて式に表したり、式に合う場面を考えたりする問題 ○x、yなどの文字を用いて式に表したり、式に合うように場面をつくったりすることができる。	○	○	○
18	分数のかけ算	○				(1)ウ 分数の乗法及び除法においても、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。	◇学習の場面で、分数のかけ算の計算の仕方を考える問題 ○数直線を用いて問題をとらえたり、かけ算のきまりを基に計算の仕方を考えたりすることができる。	○	○	○
19	分数のわり算	○				(1)ウ 分数の乗法及び除法においても、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。	◇学習の場面で、分数のわり算の計算の仕方を考える問題 ○数直線を用いて問題をとらえたり、わり算のきまりを基に計算の仕方を考えたりすることができる。	○	○	○
20	対称な形				○	(1)イ 対称な図形について理解すること。	◇地図を見ている状況で、地図記号の対称性について考え、図形の性質を使って判断する問題 ○線対称な図形について理解し、対称な図形の性質に基づいて図形を判断することができる。	○	○	○
21	比と比の値				○	(1) 比について理解できるようにすること。	◇家庭生活の場面で、クッキーの材料などの割合について比を使って考える問題 ○比について理解し、等しい比を考えたり、比や割合のそれぞれのよさを考えたりすることができる。	○	○	○
22	拡大図と縮図				○	(1)ア 縮図や拡大図について理解すること。	◇コピーをとる状況で、倍率にあった縮図や拡大図を求めたり、図から倍率を求めたりする問題 ○縮図や拡大図について理解し、辺の長さを判断したり、倍率の求め方を説明したりすることができる。	○	○	○

(注)「情報の取り出し」は全ての問題で扱うこととする

No.	単元名	学習指導要領の領域と内容				問題の概要	活用のとらえ				
		領域					情報 の 取 り 出 し	分 類 整 理 ・ 選 択	思 考 ・ 説 明	解 釈 ・ 表 現	
		A 数 と 計 算	B 量 と 測 定	C 図 形	D 数 量 関 係						
内 容											
23	速さ		○			(4) 速さについて理解し、求めることができるようにすること。	◇スキー場の場面で、リフトに乗っている時間の求め方を考えたり、計算で時間を求めたりする問題 ○時間の求め方を理解し、時間を計算で求めたり、時間と道のりの関係を考えたりすることができる。	○		○	○
24	角柱と円柱の体積		○			(3)ア 角柱及び円柱の体積の求め方を考えること。	◇学習の場面で、水そうに入る水の体積の求め方を考えたり、計算で体積を求めたりする問題 ○角柱の底面や側面を判断し、体積を計算で求めたり、体積の求め方を説明したりすることができる。	○		○	○
25	およその面積		○			(1) 身の回りにある形について、その概形をとらえ、およその面積などを求めることができるようにすること。	◇施設を訪れる状況で、複合型施設の各フロアの概形をとらえ、およその面積を求める問題 ○身の回りにおける形を、既習の図形とみて概形をとらえ、公式を使って面積を求めることができる。	○		○	○
26	比例と反比例				○	(2)ア 比例の関係について理解すること。また、式、表、グラフを用いてその特徴を調べること。	◇学習の場面で、パンフレット作成のために必要な紙の枚数などを考える問題 ○比例の関係について理解し、紙の枚数や重さなどを、比例の関係を使って求めることができる。	○		○	○
27	資料の調べ方				○	(4)イ 度数分布を表す表やグラフについて知ること。	◇アンケート調査の結果について考察する状況で、複数のグラフから特徴をとらえる問題 ○平均や度数分布について理解し、複数のグラフから事象の特徴や傾向を考察することができる。	○		○	○
28	場合の数				○	(5) 具体的な事柄について、起こりえる場合を順序よく整理して調べることができるようにすること。	◇買い物の場面で、ハンバーガーやジュース等の選び方が何通りあるかを求める問題 ○適切な観点から分類整理して、誤りなく全ての場合を明らかにすることができる。	○	○		○
29	量の単位としくみ		○			(5) メートル法の単位の仕組みについて理解できるようにすること。	◇家庭生活の場面で、昔の量の単位の仕組みを解釈し、単位換算して量を求める問題 ○メートル法の単位の仕組みを理解し、昔の量の単位について類推して考えることができる。	○		○	○

(注)「情報の取り出し」は全ての問題で扱うこととする